

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHAPage>

facebook



vol 452

Jul 2025



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~7
CAPP&INSTRUCTOR STATION	8~11
JAHA STATION	12~13
News&Information	14

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



会長 宗像 俊太郎

One Well-being をキーワードに考えるJAHAの事業 —2年間の振り返りとこれからに向けて—

前期に続き、JAHA会長を拝命いたしました宗像俊太郎です。

犬の飼育頭数の減少傾向が続くなか、この2年間の任期を通じて「動物と暮らすことのすばらしさ、動物と共に生きることの価値」を社会に伝えていくことこそが、今私たちに求められていると強く感じてきました。

動物と人がどこにでも一緒に行ける社会を目指すこと、そして子どもたちをはじめ多くの人々が日常的に動物とふれあえる機会を増やすこと。さらには、高齢者の方々が年齢に関係なくペットと安心して暮らせるような飼育支援の仕組みを整えること。これらの取り組みを通して、人と動物がより自然に共に暮らせる社会を築いていくことが、結果として飼育頭数の回復にもつながっていくものと信じています。

この取り組みは、単なる経済的な側面のためではありません。今、私たちの社会は孤立やストレスといったさまざまな課題を抱えており、人間のウェルビーイングが脅かされつつあります。だからこそ、動物との共生を通じて社会全体のウェルビーイングを高めていくことが、私たちJAHAの使命です。そしてその実現のためには、マナーやしつけの啓発も重要です。動物と暮らしていない方、関心が薄い方にも理解していただかないと、真の共生社会は実現できません。

JAHAは、会の歴史を通し、柴内裕子元会長を中心に、会員病院、多くのボランティアの皆様と共にCAPP活動に取り組んでまいりました。

我々執行部はその伝統を守りながら、未来を見据えた概念として One-Well being を掲げ、人・動物・社会環境の Well-being に向けて、引き続き取り組んでまいります。以下の項では、これまでの2年間の振り返り、行ってきた主な取り組みをご紹介します。

1. CAPP活動の更なる充実と社会貢献

JAHAの長年の中核事業であるCAPP活動においても、新たな展開を進めています。

東京青山ロータリークラブなど諸団体との交流を通じ、動物介在活動の重要性をさらに多くの方に知っていただく機会を創出しています。また医療や司法、教育の現場等におけるCAPP活動の拡大は、JAHAが目指す「人と動物の幸せな共生」の理念をより具体的に社会に浸透させる大きな力となっています。今後も医療・教育・福祉分野と連携を深め、千葉陽子理事、吉田尚子理事を中心にCAPP活動の質の向上と対象領域の拡大を図ってまいります。

2. 学術事業の充実

JAHAは設立当初より海外および国内の専門医を招聘し、質の高いセミナーを提供してまいりましたが座学を中心としたものでした。

この度、小山田和央学術委員長のご尽力もあり、新たにWAHA、および株式会社Life & Tailとの提携が実現し、献体を使用した実習プログラムの提供が可能になりました。これにより、日本にいながら世界水準の外科の実践教育を受けられるようになり、多くの動物の命を救う力になると期待しています。

その他の学術活動の分野では、学術雑誌編集委員会を立ち上げ、西村亮平編集委員長の下、JAHA学術雑誌を創刊予定です。国内外への学術情報の発信をさらに強化するとともに、若い世代の発表トレーニングの場としても活用いただくことを想定しています。

3. 動物病院、獣医師の認定制度整備

動物病院、獣医療の質の向上を目指し、上野弘道副会長を中心に昨年より新たな認定病院制度を立ち上げ、整備を進めてまいりました。またJAHAの獣医認定医資格は、認定・専門獣医師協議会により、獣医師の専門性に関する広告可能な資格として、認証されるところとなりました。今後も、動物病院および獣医療従事者の専門性と信頼性を高め、誰もが安心して働き、診療を受けられる環境づくりを支援してまいります。

4. シニアへの飼育支援

超高齢化社会が進む中で、シニア世代のペット飼育への支援の重要性が増しています。

昨年の年次大会では麻布大学の菊水健史理事より、シニアの方が犬を飼育すると認知症が4割減少し、介護費の財政負担が半減するという谷口優先生のデータも示されました。

シニアへの飼育支援の強化策としては、イオンペット株式会社様と協力し、後見人制度を備えた譲渡年齢制限のない譲渡施設を、越谷レイクタウン内に社会実験的に計画しており、来年には完成予定です。

また麻布大学様との包括連携協定のもと、相模原市獣医師会・相模原市との4者協働により、卒後教育を目的とした動物シェルター設立の計画も進行中です。こうした施設においては、保護動物の治療に対する専門医による教育、さらにしつけ指導等を通じ、獣医療従事者の研鑽と動物の社会化促進も図ってまいります。

5. ハワイ渡航手続きの簡素化

日本とハワイ間におけるペットの渡航手続きは、現在3～6カ月もの期間がかかる状況です。昨年からハワイ州およびハワイ大学、農水省と協議を重ねた結果、獣医師会に所属しているJAHA会員の指定病院で手続きをすれば、申請期間を約2週間に短縮する仕組みを整備中です。これが実現すれば、ペットとの旅行を希望するご家族にとって大きな支援となり、ペットツーリズムの拡大と共にJAHAの国際的な信頼構築にもつながります。

さらには、客室内最後列にペットを入れられるよう各航空会社と交渉し、国内でもそれが広がっていけば、人と動物がどこにでもいける社会に一步近づくことになります。

6. 国際交流の推進

国際交流の分野では、5月に行われた中国東西部大会において、JAHAの活動を紹介し、日本の動物医療の現状と日中の違い、また日本でのITの普及状況について講演してまいりました。さらに、韓国動物病院協会(KAHA)および大邱市獣医師会(DVMA)との小動物獣医学研究・産業交流促進に関するMOU締結、FASAVA(アジア小動物獣医師連盟)加盟等により、アジア圏における連携基盤の強化を図っています。今期も引き続き、広範な国際的ネットワークの構築を目指してまいります。

7. 社会的な発信力の強化

新たに発足した広報委員会と吉田尚子理事の主導により、滝川クリステル氏との対談を実現し、JAHAの理念と活動を広く社会へ発信する取り組みを行いました。また読書

犬活動等の動画での発信にも力を入れています。

今後も広報活動を通じて、獣医療が社会に果たす役割を多くの方々に届けてまいります。

8. 国内政策提言活動

デジタル庁を訪問し、デジタル田園都市構想におけるWell-beingの指標項目にペット飼育に関することを入れていただくことを提言いたしました。ペットの存在が高齢者の心身の健康維持に寄与していることを科学的データに基づき説明し、ペットと人の共生の重要性を訴え、政策への反映を働きかけています。

9. 会員基盤の強化

業界の課題を解決し、発信力、影響力を持つためにも会員数は重要です。

会員基盤の拡充にも重点を置き、会員間のつながりの強化、正会員の加入促進を継続しています。法人賛助会員についても、協賛企業の皆様のご理解とご支援により着実に増加しており、産業界との連携もより強固なものとなりつつあります。

今期の展望 一人と動物の幸せな共生社会を実現する「獣医療コミュニティ」としてのJAHA

今期も「One Well-Being」の理念のもと、人・動物・環境が調和して暮らせる社会の実現に向けて、さらなる活動の深化を目指します。

この2年間、上述の様々な取り組みを行ってきましたが、まだまだ解決すべき課題が多く残されています。東京都獣医師会では、上野弘道JAHA副会長(東京都獣医師会会長)の指導力により、業界の諸課題の改善をワンヘルスアプローチの視点から進めておられますが、JAHAもこれに協力し、共に業界の課題解決に貢献していきたいと考えます。

JAHAは、単なる「協会」に留まらず、動物病院という実際の現場を基盤とした「獣医療コミュニティ」としての可能性をもつ団体です。

病院の規模に関わらず、獣医師、動物看護師の採用難などの業界全体の労働問題、現場の困り事、会員の悩みを皆で共有し、解決できる組織でありたいと思います。また、人と動物の幸せな共生社会のために、様々な立場の関係者が集い協力するプラットフォームでありたいと思います。

新執行部においても、先輩方がこれまで築かれてきた伝統と実績を礎とし、会員の皆様や業界関係者の皆様と共に、獣医療の未来を切り拓く新たな一步を踏み出してまいります。引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年度 役員紹介

副会長 市川 陽一朗 (千葉県 いちかわ動物病院 院長)



前期に引き続き副会長として宗像会長を支えてまいります。担当はCAPP委員会、VN委員会、年次大会実行委員会、養成講座委員会、シニア講座、愛玩動物看護師養成校対象のJAHA支援校などになるかと思ひます。他団体の役員もしておりますので、行政や他団体とのパイプ役も担いたいと思ひます。ペットフレンドリーな社会の実現に少しでも力になれば幸いです。

副会長 上野 弘道 (東京都 日本動物医療センターグループ 代表)



副会長を拝命いたしました上野弘道です。日頃より本会の活動にご理解とご協力をいただいている会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。前期では、専務理事時代から準備を進めてきた認定病院制度において、上位認定制度を無事にスタートできたことが大きな成果となりました。会員の皆さまの日々の努力や想いが、社会からの信頼につながっていく——そんな仕組みとして、この制度が皆さまの力になればと願っております。これからも宗像会長のビジョンのもと、動物とそこご家族、医療に携わる私たち、そして社会全体の幸せにつながる「One Well-being」な社会の実現を目指して、微力ながら尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長 吉内 龍策 (大阪府 南大阪動物医療センター 院長)



理事として5期目となります。ふと周りを見渡しても同世代の人たちの姿はなく、時代の変遷を感じずにはおれません。現執行部としては2期目となり、これからの時代の動物病院の在り方を模索し、協会の果たすべき役割を見つめなおす議論に熱がこもります。現執行部に委ねられた事業の展開や会員のサポートは、既存の枠にとられない未来への挑戦を感じさせるものです。微力ながらこの素晴らしい執行部の一員として会員の皆様の負託に応えるべく、充実した最後の2年間にしたいと考えております。

専務理事 水野 浩茂 (千葉県 ミズノ動物クリニック 院長)



前期に引き続き JAHA 専務理事を就任しました水野浩茂です。日頃より JAHA の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。動物医療を取り巻く環境は日々変化していますが、JAHA は常に「人と動物の絆」を大切にし、動物医療の質の向上と動物病院の発展を目指して活動を続けております。今後も、会員の皆様とともに学び合い、支え合いながら、より良い未来を築いてまいりたいと考えております。

理事 秋吉 秀保 (大阪府 ネオベッツVRセンター副センター長)



令和7年度の定時総会におきまして、前期に引き続き、理事に選任されました秋吉秀保でございます。このたびも引き続き理事を拝命することとなり、身の引き締まる思いでおります。今期も、JAHAが推進する「動物病院および動物医療の充実に関する公益目的事業」の一環として、学術事業、認定医の育成、ならびにJAHA学術雑誌「One Well-being」の編集に関わる業務を担当させていただきます。これらの活動を通じて、より実践的かつ質の高い卒後教育の場が整備され、会員の皆様の専門性向上と動物医療・福祉の更なる発展に寄与できるよう、尽力してまいります。また、宗像俊太郎会長をはじめとする理事各位と緊密に連携しつつ、関連する他の学協会とも協調しながら、JAHAが果たすべき社会的使命の達成に貢献してまいります。JAHA会員の皆様におかれましては、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事 枝村 一弥 (日本大学 教授)



この度、理事に就任することになりました日本大学の枝村一弥と申します。私とJAHAは、前身を含めると30年以上の繋がりがあり、私の獣医師としての原点となっています。昨今、大学附属動物病院は獣医師や愛玩動物看護師の養成や高度医療を提供するだけでなく、質の高い顧客サービス、就業者の満足度の向上、社会貢献が求められています。そのような背景から、日本大学動物病院はJAHAに加入し、理念を共有しています。理事として、人と動物の共生社会の実現のために、JAHAの活動に邁進したいと思ひますので、今後ともよろしくお願い致します。

理事 千葉 陽子 (東京都 赤坂動物病院 勤務医)



前期に引き続き理事を務めさせていただきました千葉陽子です。JAHAの公益事業の一つであるCAPPに1993年より犬や猫を伴って参加し、運営に従事してまいりました。前期では皆様のご支援、ご協力で、新たな活動を始めることができ深く感謝申し上げます。これまでの経験を活かし、さらなる本会の発展に貢献できるよう努力いたします。医療、福祉、教育の分野ではこれまで以上に動物介在サービスが注目され、活動先での獣医師や愛玩動物看護師の必要性を実感しております。伴侶動物と人との関わりがもたらす癒しと喜びを社会に広め、他分野と連携し、動物病院のさらなる発展につながるよう努めてまいります。会員の皆様、役員の皆様のお力を賜り職務に邁進する所存です。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理事 大石 太郎（岡山県 やさか動物病院 院長）



JAHHAには親子2世代お世話になり学術研鑽から就職活動、経営に至る分野まで多くのことを学ばせていただき、自身の成長の糧となっている会です。数年前から西日本ディレクター、ホスピタル委員、広報委員などでご協力させていただいています。今後は理事として日本の動物病院の成長・獣医師・愛玩動物看護師など獣医療従事者の成長を支援できるよう努めていきたいと思ひます！JAHHAを通じて人と動物が共生する社会の実現に向けて尽力していきます！！

理事 菊水 健史（麻布大学 教授）



麻布大学の菊水です。2期目の理事を拝命いたしました。獣医臨床の経験はほぼ皆無ですが、宗像先生の目指すOne Well-beingに共感し、他の理事の先生方とも意見交換をさせていただき、JAHHAが掲げる「人と動物の共生社会の実現に向けて」の理念達成に向けて、イヌなどの動物がいることでの飼い主への効果、社会への効果を、研究を通して明らかにし、今まで以上に動物病院とそこで働く方々の社会的価値を伝えていければと思っています。今期はなんらかの形でデータを集めて、Well-Beingの計測を試みたいと思ひております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事 野崎 大輔（社会保険労務士法人 日本労働教育総合研究所 代表社員）



この度、新たに理事を拝命致しました野崎大輔です。多くの動物病院がスタッフの採用、定着、育成に課題意識を持っており、動物病院経営において人材マネジメントが重要な経営課題となっています。私は2012年から動物病院の人が育つ組織風土の醸成に取り組んできましたが、院長先生の悩みを共に解決していく中で私自身も多くのことを学ばせて頂きました。そして若いスタッフが成長し、活躍している姿を見て、彼らからも刺激を受けています。私は「自院を良い病院にしたい」、そして「業界の発展に貢献したい」と考えていらっしゃる先生方の理想の実現に貢献できるよう精進して参る所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

理事 横山 篤司（長野県 さくら動物病院 院長）



この度、理事の二期目を拝命しました横山です。当会には10年前に東日本ディレクターとしてかわり始めました。当時はJAHHA会員や役員の皆様は憧れの存在であり、話をするだけでモチベーションが上がり明確な将来ビジョンを持つことが出来ました。所属して年月が経つにつれて後輩も増え気付くとベテランのメンバーとなっていることに時の過ぎるのは早いと感じます。それと同時に当会に対する責任も感じております。今回二期目の理事として会に携われることに不安もありますが、これまで諸先輩方から頂いた素晴らしい財産を次の世代にバージョンアップして引き継いでいきたいと思ひています。JAHHAの発展と動物病院に携わる全ての人たちが幸せで活躍できるように全力で頑張る所存です。

理事 吉田 尚子（愛知県 家庭動物診療施設 獣徳会 勤務医）



引き続き理事を務めさせていただきます、吉田でございます。動物病院は、ご家族にとって最良の獣医療を提供する場であると同時に、人と動物が共により良く生きるための関係性を育む、特別な場所でありたいと私達は考えます。動物のwelfareも人と動物のwell-beingもすべて人にゆだねられています。JAHHAは「人と動物の絆を大切に、共に幸せに生きる」この共通の想いを持った人々が集い、力を発揮できる貴重なプラットフォームです。この場を通じて、皆さまとともに歩みを進められることを心より嬉しく思ひております。今日の笑顔、そして子どもたちと動物たちの健やかな未来のために、どうか手をつないでください。今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

監事 秦 東主（シン・ヘル法律事務所所長 弁護士）



前期に引き続き、監事に再任されました秦東主です。弁護士という、ある意味畑違いの私からみて、JAHHAに関係する皆様との接触は大変新鮮なものでした。そんな私からみて、JAHHAの存在意義は大変大きいと感じていますし、役員ほか関係者皆様の日々の奮闘ぶりには本当に頭が下がる思ひです。JAHHAの魅力は、もっと広く、そしてもっと深く共有されるべきだと思います。微力ではございますが、私も、JAHHAのさらなる発展に少しでもお力になりたいと思ひております。引き続きよろしくお願い申し上げます。

監事 西村 亮平（東京大学 名誉教授）



2025年度の日本の幸福度ランキング（World Happiness Report 2025）は世界55位と2年続けての4ランクダウンとなった。長寿で安全で食事もうまい国の順位がこれほど低いには様々な要因が絡んでいるのだろうが、犬の飼育率が世界でも類を見ないほど低くなってきていることも大きく関連していると思われる。JAHHAが提唱するOne Well-beingは、まさしく人も動物も地球も幸福にしようとするものである。会長をリーダーとする活動がより活発なものとなっていくことを切に願う。

こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



こいぬこねこ教育アドバイザー実践コースに参加して

スピカ動物病院 小山紀江

幼い頃から動物が好きだった私は、いつからか将来は獣医さんになれたらいいなと思っていました。その後、獣医師になろうと決意したのは、高校生の時に見た湾岸戦争のテレビ映像がきっかけでした。攻撃されたタンカーから重油が海に流出し、油まみれで真っ黒になった野鳥たちが息絶えていく姿が映し出されていました。私は何とも言えない苦しい気持ちになり、人も動物もお互いに幸せに暮らしていける世界であってほしい、そのために私ができることは何かと考えました。そして、大好きな動物のことを勉強して動物の命を守る獣医師になろうと決意しました。しかし、大学卒業後、動物病院で忙しく仕事をこなす日々が続くと、心の余裕がなくなり、飼い主さんの気持ちや動物に寄り添うこともできず、目標としていた獣医師像とは全く違う自分になっていました。

6年ほどで離職し、獣医師の仕事から遠ざかっていましたが、このままでは一生後悔する！と奮起し、約12年のブランクを経て、飼い主さんと動物が幸せに暮らすための架け橋になるという夢をもって復職しました。以前と同じことを繰り返さないか不安でしたが、むしろその経験があったからでしょうか、忙しい毎日でも幼い頃と同じように動物を愛おしく感じ、飼い主様と心を通じ合わせてお話できることに喜びを感じる日々を過ごしています。

夢へのさらなる一歩として、こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座実践コースに参加し、犬猫の習性、本能に基づくニーズを満たす大切さ、子犬・子猫期の教育の重要性など、多くのことを学びました。そして先日、念願だったパピークラスをついに開催できたのです！最初は緊張していた子犬が、1時間の間に私のもとへ走り寄ってきて楽しく遊べるようになって、飼い主さんと一緒に私も嬉しい気持ちになりました。とっても幸せなひとときでした。これからもっと経験を積んで、人と動物が幸せに暮らす家庭を増やしていけるように、この先の獣医師人生を惜しみなく注ぎたいと思います。



ごあいさつ ～WJVF第16回大会へ向けて～

私たち日本動物病院協会(JAHA)は、CAPP活動、こいぬこねこ教育アドバイザー、家庭犬しつけインストラクターなど他の会にはない素晴らしい活動に長年取り組んできました。近年ではシニアケア講座も始めました。

このようなJAHAの活動を獣医師や愛玩動物看護師はもちろん、学生、一般の方や企業の方々まで広く知っていたくために、またJAHAが生み出した認定者や認定犬等の活躍の場として私たちはこのWJVF大会を貴重な機会であると位置づけております。

WJVF第16回大会JAHAプログラムのテーマも「人とどうぶつの絆」です。ヒトと動物がお互い最大限に恩恵を分かち合える社会づくりにつながるプログラムを実行委員一丸となって企画しました。講師の先生方は当会理事の菊水健史先生を筆頭に大林杏子先生、岡田友里香先生、小野寺智香先生、みなさまJAHAファミリーの先生方です。聴きごたえのある充実した内容となっておりますのでどうぞご期待ください。

今回の講演を通して、一頭でも多くの動物たち、一人でも多くの人たちがハッピーと感じてもらえることでしょう。

また、WJVFを共催している一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム(JBVP)さんが、今年ならではの企画として、WJVF登録サイトから大阪万博のチケットも購入できるようにしてくださっています。たっぷり勉強した後は大阪万博で楽しんでいかれてはいかがでしょうか。遠方にお住いの方も、是非、大阪へお越しください。

WJVF実行委員長 正田晃一

市民公開講座

参加費無料

WJVF第16回大会 **JAHA** プログラム

人とどうぶつの絆

日時：**7月27日(日)** 13時開場

会場：ホテルニューオータニ大阪

共催：(公社)日本動物病院協会

一社)日本臨床獣医学フォーラム



13:40～ One well-being 人と犬と社会の関係

菊水 健史 先生



15:10～ うちの子も参加できる？人と動物のふれあい活動の実際
～我が子と一緒に社会貢献！～

大林 杏子 先生



詳細はこちら

市民講座問合先：公益社団法人日本動物病院協会
大会問合先：WJVF事務局

大会登録
(有料)が
必要です



動物病院スタッフ向けJAHAプログラム

- 9:00～ パピークラスの始め方
一ご家族と愛犬にとってオンリーワンの動物病院になるー 小野寺 智香 先生
- 10:30～ パピー期を過ぎてからのご家族に伝えたいこと
～お散歩関連のご相談にどう答える？～ 岡田 友里香 先生
- 17:00～ 叫ぶ！暴れる！怖がる！柴犬の診察困っていませんか？
～病院スタッフが現場で出来ること～ 岡田 友里香 先生

2025年 4月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
栃木県	マイホームきよはら【矢部 真人(V)】	11	3		8	9		
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	7	2		9	2	8	
東京都	麻布慶福苑【徳永治子・齋藤麻実子(V)】	10		1	8	2	7	
	久我山園【金子いづみ】	8			8	1	7	
	ツクイサンシャイン成城【石森菊江】	9			8		6	
	ピパフロラ【清水弥生・竹中晶子(VN)・海老澤崇史(V)】	10		2	9	2	9	
	ディーフェスタリーフ国立府中【中島千恵(VN)】	13		1	5	1	6	
	ティサービスD-Festa立川【中島千恵・熊本さかえ(V)】	16	1	1	2		3	
	いきいきプラザ一審町【諸見里喜久恵・柴内晶子(V)】	17		1	11	1	7	1
	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	21	1		8		7	
	くめがわ翔裕園【永島憲子・皇中道昭(V)】	22	1		7		5	
	芦花ホーム【金澤順子】	23		1	6	1	6	
神奈川県	ひがしむらやま翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	2	1		7		4	1
	旭ホーム【水谷渉(V)】	6	3	1	1	1	2	2
	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	17	2	2	2		1	3
	ひとりざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】	24	1		7		6	
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	24	2	2	2	1	1	3
	ラポールミツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	26			3		3	
	横浜さくら苑【佐藤恭子】	13	1		5		4	1
大阪府	鏡さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	20	2		5	1	5	
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	16	2		8		7	
福岡県	宗像アコール【吉田眞理子・永田朋子(V)】	9			4	1	5	
	若杉の里【徳永和可子】	30			2	1	1	
合 計		23回	22	12	135	15	119	5

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
滋賀県	びわこ学園【新山則子(V)】	23	3	1	2		2	
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	8	2	3	2		5	1
神奈川県	湘南鬼瓦【水谷渉(V)】	10	2	2	2		1	3
富山県	COCORO【吉田理栄子(V)】	23	1		5		4	
合 計		4回	8	6	11	0	12	3

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
東京都	三鷹市立三鷹図書館【風祭紀子・海村昌世・千葉瑞子(V)】	19	1	1	10	2	5	
	品川区立大崎図書館分館【尾前元子・森本祐子】	26	1	1	6	4	3	
愛知県	名古屋中央児童相談所【廣瀬佳代(V)】	4			6	1	4	
合 計		3回	2	2	22	7	12	0

医療施設等

都道府県	施設名【Team Leader／担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	16	1		4	5			
	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	23	1		3	3			
東京都	信愛病院AAA【鳥居由紀・柴内裕子(V)】	8			10	6		1	
	長谷川病院【浅原久子】	24			7	1	7		
	東京衛生アドバンス病院【竹中晶子(VN)】	4		1	1	2			
		11		1	2	2	1		
		18		1	2	1	2		
		25		1	2	2	1		
	聖路加国際病院【柴内晶子(V)】	24		1	3	3			
静岡県	天竜病院【大井由紀子・館澤仁(V)】	14			5	5			
愛知県	愛知県医療療育総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	15			4	3			
	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	23			7	5			
兵庫県	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	9	1	1	2	4			
	神戸アドベントス病院ホスピス(P)【石井孝子】	14			1	1			
		24			1	1			
合 計		16回	3	6	54	1	50	4	1

	活動回数	獣医師	動物 看護士	ボランティア		犬	猫	他
				参加	見学			
4月合計	46回	35	26	222	23	193	11	13

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHN1級動物看護士

5月の寄付と募金のご報告

CAPP設置募金箱から		
埼玉県朝霞市	あさか台どうぶつ医療センター	3,709
東京都港区	赤坂動物病院	39,757
静岡県掛川市	アン動物クリニック	3,000
奈良県奈良市	あや動物病院	7,876
愛知県岡崎市	岡崎東病院	731
大阪府茨木市	春日丘動物病院	5,811
大阪府大阪市	こてつ動物病院	24,181
岡山県岡山市	ダクタリ動物病院 岡山病院	2,908
奈良県奈良市	奈良動物医療センター	2,859
東京都練馬区	練馬動物医療センター ホンド動物病院 豊玉病院	3,415
千葉県八千代市	はせ動物病院	14,352
愛知県名古屋市	ひがしやま動物病院	14,811

ポイント募金	
Yahoo(株)	13,222
SOFT BANKつながる募金	3,701

個人・動物病院からの寄付		
愛知県岡崎市	岡崎東病院	4,269
岡山県岡山市	ダクタリ動物病院 岡山病院	3,000
東京都練馬区	練馬動物医療センター ホンド動物病院 豊玉病院	5,000
千葉県八千代市	はせ動物病院	5,000
愛知県名古屋市	ひがしやま動物病院	189
	宮崎 佳子様 (こてつ動物病院様経由)	78,313

企業・団体からの寄付	
ベビイのポイント募金箱から(PEPPY(株))	144,004
公益社団法人 アニマルドネーション	302,588
アニコム パフェ(株)	1,936

募金箱の開封は、年度末だけでなく、一年を通していつでも受け付けております。
また、募金箱にかんして、古くなったり替えが必要な場合には事務局までご連絡下さい。

東京都中野区の徳育幼稚園でもCAPP活動が始まりました

2025年2月6日に東京都中野区の徳育幼稚園でAAE活動が始まりました。

徳育幼稚園の園長先生の奥様がCAPP活動で訪問している施設に勤務され、長期にCAPP活動を迎えてくださり、私たちの訪問活動をご覧になり、お子様たちとのふれあいを強く願われ、開催に至りました。

コロナ後小学校での活動は再開されておりましたが、初の幼稚園の活動で私たちボランティアは少々緊張と楽しみで向かいました。

徳育幼稚園は歴史ある幼稚園で園内には立派な礼拝堂があり、その礼拝堂をお借りして活動を行いました。

この日はCAPP犬4頭が園児(年少さんから年長さん) 20名とのふれあいです。

最初に千葉陽子先生(JAHA、CAPP担当理事 赤坂動物病院獣医師)からご挨拶と、犬の近くではいけない3つの約束の勉強

①大声をあげない ②突然走らない ③突然さわらない

を説明して、犬達が登場、自己紹介を行いました。大きなゴールデンレトリバーさんから小さなマルチーズさんと大小4頭を目の前にしてお子さんたちは大喜び、犬達が「まて」「おいで」「おりこう!」と、トレーニングされた安全な犬であること、犬を優しく褒める姿をお見せしました。また犬との事故防止プログラム、犬との正しいふれあい方「やさしいグー」を勉強し、一人歩きをしている犬と出会ったら、「木になろう」「倒れた木になろう」のデモンストレーションを行なったり、さわってはいけない時についてパネルを使ったり、犬たちの協力で学びました。

最初は犬がこわいと思っていたお子さんも安全な犬との体験を通じて犬との距離が縮み、「ふわふわしてやわらかい」「かわいい!」と笑顔いっぱいのおふれあいができるようになり、犬との散歩も楽しく体験できました。散歩では礼儀正しく順番がくるのを待って、ボランティアさんがショートリードをお子さんはロングリードとお散歩バッグをしっかりと持ち、犬のペースに合わせて胸を張って散歩を楽しみ、お友達を気遣ったりするなど優しい光景が見られました。

最後の質問時間もたくさんの質問が出てお答えしきれず、後日お手紙でお返事をいたしました。

ふれあいの終わりには園長先生のギター演奏で園児の皆さんが歌を歌ってくださり、活動を終えました。園児の皆さんは名残り惜しそうにいっぱいに手を振って退室していきました。

徳育幼稚園の先生からのご感想にもありますように犬とのふれあいを通してお子さんたちにもご家族にも犬とのふれあい方を学びながら、育ちゆく子供たちにとって優しい心が芽生え、持ち続けて下さることを願い大切な活動であることと、改めて強く感じました。

CAPPボランティアリーダー 赤坂動物病院 愛玩動物看護師 竹中晶子

公益社団法人日本動物病院協会
皆様

先日は、徳育幼稚園に来て下さりありがとうございました。スタッフの方をはじめ、飼い主さんが、細やかに子どもたちにお話をくださり、丁寧に対応していただいた事で子どもたちも、真剣にお話を聞き興味を持ち犬たちと関わる事ができました。又、苦手意識を持っている子、触るのが怖いと思う子にも優しく声をかけて下さり、無理しなくても大丈夫と

安心できるように言葉を選んで下さりありがとうございました。降園後、それぞれのご家庭で色々お話をしていたと保護者の方から聞きました。又、やさしいグーの話をする子も多かったようです。今回の経験で犬に対しての思いが身近に感じ、更に興味を持つことができたり、関わりたいと思ったことと思います。このような機会を本当にありがとうございました。まだ寒い日が続いておりますのでどうぞ自愛くださいませ。

徳育幼稚園

ご担当の先生から
あたたかいお手紙を
いただきました

聖路加国際病院小児病棟訪問（各種）ボランティアさんへの 「2024年度ありがとうの会」が開催されました

記：尾前元子 特別養護老人ホームさく、大崎図書館分館チームリーダー 聖路加国際病院ボランティアサポーター

2025年3月18日聖路加国際病院トイスラーホールに於いて聖路加国際病院小児病棟「2024年度ありがとうの会」が開催されました。

聖路加国際病院小児病棟へは、2003年小児外科部長(当時)の松藤凡先生が、「犬と遊びたい！」と願うお子さんの願いを何とか叶えたいと、JAHAのCAPP活動を希望され、本会柴内裕子相談役と何回も検討を重ね、日本で初の小児病棟の活動として開始、毎月第2第4木曜日の月2回活動しておりました。他の活動ボランティアの会同様、新型コロナウイルス感染症「COVID-19」の流行により中止を余儀なくされましたが、2024年12月から月1回の活動を再開することが出来ました。

「ありがとうの会」は2019年より、聖路加国際病院 こども医療支援室のチャイルド・ライフ・スペシャリストの方が中心となり、「ボランティアのみなさまに感謝をこめて「ありがとうの会」を開催したい」と話され、「日頃ゆっくりみなさんとお話できず、また普段なかなか感謝の気持ちをきちんとお伝えする機会がありませんでしたので、この会を通してみなさまと一緒に、楽しい交流の場にできればと思っています」との趣旨でご案内を頂きました。

2019年第一回は対面でとても賑やかに開催されましたが、その後はオンラインでの開催となりました。オンライン開催中も他のボランティア団体の方々と情報交換出来る貴重な機会でしたが、今回5年ぶりに対面開催となりました。

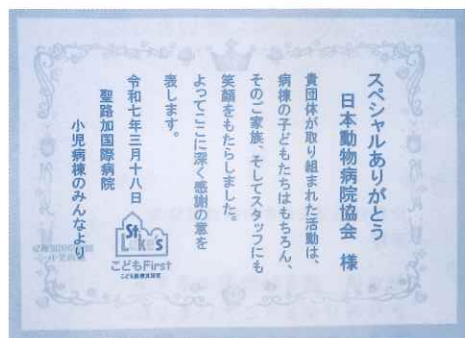
こども医療支援室より2024年度の病棟の様子報告、各団体の自己紹介、懇談、表彰式(表彰状を頂きました)と続き、沢山の団体がボランティアで参加されている中、今回の出席は8団体、各団体から1~2名の参加で第一回に比べると小規模でしたが、その分内容の濃いお話を伺うことが出来、患児さんとそのご家族も参加出来るイベントを共同で開催出来たらと、話が広がりました。

お忙しい中、病棟の医師や看護師の方々もご参加下さり、CAPP活動の犬とお子さんとのノンバーバルコミュニケーションの重要性や効果をお話下さいました。

コロナ以後、まだボランティアを再開出来ていない団体もありましたが、様々な感染症が落ち着いて今年度はより沢山の団体が活動を再開出来、次回の「ありがとうの会」がもっと賑やかに開催され、聖路加に参加するCAPPボランティア皆で参加出来る状況になることを願ってご報告します。

現在主に参加下さっているボランティア様と活動犬

チームリーダー 柴内晶子先生(赤坂動物病院 院長)
飯田良枝さん メグちゃん(チワワ)
諸見里喜久恵さん はるちゃん(Mシュナウザー)
風祭紀子さん ルーチェちゃん(ハバニーズ)
竹中晶子さん(赤坂動物病院 愛玩動物看護師)
みににちゃん(シーズー)、むぎちゃん(シーズー)
尾前元子(ボランティアサポーター)



— 今月の表紙 —

『熊本アクロスCAPP頑張ってます!』

高野 正博先生(90歳)と、
ゴールデン・レトリバーの雪ちゃん(2歳)、
コリーのエリーちゃん(9歳)

写真提供:
田中 明子(タナカ メイコ)様



ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています

「人と動物の絆」をテーマに、ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています。
お寄せいただける方はお写真と一緒に、お写真の提供者名(掲載するお名前)、お写真のタイトルをinfo@jaha.or.jpまでお送りください。
どうぞよろしくお願いいたします。

※肖像権、著作権、動物の福祉に配慮した写真をお願いします。





海外文献要訳

The social dimension of equine welfare: social contact positively affects the emotional state of stalled horses

A. Flamand, L. Robinet, A. Raskin, M. Braconnier, A. Bouhamidi, G. Derolez, C. Lochin, C. Helleu, O. Petit
Animal Behaviour 221, 123055 (2025)

馬の福祉における社会的側面:社会的接触が馬の感情状態を改善する

家畜動物は管理のしやすさを重視した環境で飼育されることが多く、その結果、種固有のニーズが十分に満たされず、福祉や感情状態に悪影響を及ぼすことがあります。中でも馬は社会性の高い被捕食動物であり、個別馬房での飼育により同種との接触が制限されると、ネガティブな感情状態や行動異常のリスクが高まります。一方で、社会的接触はポジティブな感情を促し、福祉の改善に寄与する可能性があります。感情状態は動物の行動や認知にも影響を及ぼすため、その評価には判断バイアステストなどの認知的指標が有効とされています。

本研究では、個別馬房で飼育されている成馬を対象に、定期的な社会的接触が感情状態および福祉に与える影響を、行動観察・人によるグルーミング時の反応・判断バイアステストなど複数の指標で検討しました。社会的接触を受けた馬は、孤立した馬と比べて、より肯定的な感情状態および良好な福祉状態を示すと仮定しました。

対象は乗馬競技用の成馬20頭で、社会的接触のある「社会的条件群」(10頭)と、接触のない「隔離条件群」(10頭)に分け、4か月間の観察を実施しました。社会的条件群では、ミーティングボックス内で特定のパートナー馬と週5回、1回あたり1時間の接触機会を設けました。この期間中、すべての馬に対し、①馬房内での異常行動観察、②人によるグルーミング時の反応観察、③空間判断バイアステストを実施しました。行動観察では常同行動・過剰警戒・無関心・人に対する攻撃性といった福祉指標を記録しました。また、グルーミングでは、馬と交流のない実験者が5分間実施した時のポジティブ・ネガティブ・曖昧な反応から緊張や警戒の程度を評価しました。さらに、4か月の実験後に実施した判断バイアステストでは、空間GO/NO GO課題を用いて、ポジティブ・ネガティブ・曖昧な場所に移動する反応時間を測定し、感情的傾向を評価しました。すべてのデータは標準化された手順に基づき、観察者による盲検下で解析されました。

結果として、社会的接触のある馬は、孤立馬に比べてより

良好な感情状態を示しました。社会的条件群では、馬房内における常同行動やネガティブな行動が少なく、人との接触時の警戒や緊張も低い傾向がみられました。判断バイアステストでは、社会的条件群が曖昧な刺激に対しより早く、ポジティブに捉える傾向があり、楽観的な認知バイアスが確認されました。これらの結果は、HeleskiらやLansadeら、Ruetらによる先行研究とも一致しており、社会的孤立が馬の異常行動やストレスの増加と関連していることを裏付けています。また、グルーミング時の観察では、社会的接触のある馬はリラックスした反応を示し、不安や警戒行動が少ないことが確認されました。これは、社会的環境が肯定的な認知と結びついている可能性を示唆し、人との接触をポジティブに捉えられていると考えられます。社会的接触が馬の環境制御感を高める要因となっている可能性もあります。一方、孤立馬は日常的に不安状態にあり、グルーミングを行う人を含めた外部刺激を脅威として過剰に認識する傾向がみられました。これは、不適切な飼育環境が恐怖や不安を増大させることを示した過去の研究とも一致しています。

判断バイアステストの結果では、社会的接触が馬の認知バイアスに楽観性をもたらすことを示しており、HenryらやBriefer & McElligottらの報告と一致しています。社会的ニーズは馬にとって極めて重要であり、たとえ一時的な接触であっても、感情面で肯定的な効果が得られることは、福祉向上における社会的環境の重要性を強く示しています。

総じて本研究は、定期的な社会的接触の提供が馬の感情的健康や行動の改善に寄与し、福祉の向上につながることを明らかにしました。さらに、認知機能や労働パフォーマンスへの良好な影響も期待されます。したがって、馬の社会的ニーズを踏まえた飼育管理の見直しは、産業における馬の福祉向上および人との関係性の改善の双方において、極めて重要な意義を持つと結論づけられます。

新入会 ～正会員 紹介～

北摂夜間救急動物病院

《入会》5月16日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》大阪府箕面市船場東2-3-55北摂`ツツシタ`ビル
TEL: 072-730-2199
《正会員》神津 善広

ヴィアーレ動物病院

《入会》5月12日 《入会区分》動物病院会員B
《住所》千葉県浦安市高洲1-10-11F
TEL: 047-720-4112
《正会員》刑部 允勝

東京サンライズアニマルケアセンター

《入会》5月29日 《入会区分》動物病院会員A
《住所》東京都足立区中央本町5-12-5
TEL: 03-6807-2520
《正会員》原田 宗範



会議録

2025年度 第1回理事会 議事録

日時: 2025年5月15日(木) 15:00~15:50

出席者(敬称略):

理事: 宗像俊太郎、市川陽一郎、上野弘道、吉内龍策、水野浩茂、秋吉秀保、菊水健史、千葉陽子、横山篤司

吉田尚子

監事: 秦東主、(欠席: 西村亮平)

事務局: 鎌田真弓、伊藤啓美、芝亜希子

決議事項:

第1号議案 令和6年度 事業報告案について

・原案を承認し、定時総会に報告事項として提出することとした。

第2号議案 令和6年度 決算案について

・原案を承認し、定時総会に決議事項として提出することとした。

第3号議案 令和7年度 定時総会の招集事項について

定款第16条第3項の規定に基づき次の事項を承認した。

1) 総会の日時及び場所

・令和7年6月19日(木) 14時00分~

・公益社団法人日本動物病院協会(東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階)

2) 総会の目的である事項

次に掲げる事項の承認

決議事項

第一号議案 令和6年度決算について

<財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産諸表に対する注記・付属明細書>

第二号議案 定款の変更について

・「第5章役員等」公益法人として今後の持続的成長と柔軟なガバナンス体制を構築するため、理事の定数を6名以上10名以内から6名以上15名以内に變更

・「第11章補則」多くの公益法人や一般社団法人にならない、柔軟な運営の実現のため定款施行細則の改廃の権限を総会から理事会に変更

第三号議案 令和7年、8年度 理事及び監事の選任について

理事候補者名と所属・役職等

秋吉 秀保 (大阪府 ネオベッツVRセンター副センター長 獣医師/現理事)

市川陽一郎 (千葉県 いちかわ動物病院 院長 獣医師/現副会長)

上野 弘道 (東京都 日本動物医療センターグループ代表 獣医師/現副会長)

枝村 一弥 (日本大学 教授 獣医師/新任)

大石 太郎 (岡山県 やさか動物病院 院長 獣医師/新任)

菊水 健史 (麻布大学 教授 獣医師/現理事)

千葉 陽子 (東京都 赤坂動物病院 勤務医 獣医師/現理事)

水野 浩茂 (千葉県 ミズ/動物クリニック 院長 獣医師/現専務理事)

宗像俊太郎 (埼玉県 あさか台どうぶつ医療センター院長 獣医師/現会長)

横山 篤司 (長野県 さくら動物病院 院長 獣医師/現理事)

吉内 龍策 (大阪府 南大阪動物医療センター 院長 獣医師/現副会長)

吉田 尚子 (愛知県 家庭動物診療施設 獣徳会 勤務医 獣医師/現理事)

外部理事候補者名と所属・役職等

野崎 大輔 (社会保険労務士法人 日本労働教育総合研究所 代表社員 特定社会保険労務士/新任)

監事候補者名と所属・役職等

西村 亮平 (東京大学 名誉教授 獣医師/現監事)

外部監事候補者名と所属・役職等

秦 東主 (シン・ベル法律事務所 弁護士/現監事)

報告事項

令和6年度事業報告

令和6年度監査報告

3) 総会に出席しない正会員が書面で議決権を行使することができることとするときは、その旨、並びに総会参考書類に記載すべき事項及び議決権行使の期限

・書面で議決権を行使することが出来る

・総会参考書類に記載すべき事項

第一号議案: 財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産諸表に対する注記・付属明細書

第二号議案: 定款の変更箇所と変更理由

第三号議案: 理事及び監事候補者名及び所属・役職等の一覧

・議決権行使の期限 6月19日(木) 14時00分

4) 代理人による議決権行使について、委任状その他の代理権を証明する方法及び代理人の数その他代理人による議決権の行使に関する事項

・代理人による議決権を行使する方は、委任状を前日17時30分までにJAHA事務局まで郵送または持参。当日、総会会場に持参も可とする。

第4号議案 VN委員会への新規委員追加選任の件

・吉田奈央さん(愛玩動物看護師、刈谷動物病院グループ ミツ目通り病院 愛玩動物看護師)を令和7-8年度VN委員として追加選任することについて承認した。

第5号議案 ホスピタル委員会へのアドバイザー追加選任の件

・旭あすかさん(愛玩動物看護師、愛知県・りんごの樹動物病院 動物看護師)を令和7-8年度 ホスピタル委員会アドバイザーとして追加選任することについて承認した。

第6号議案 入会審査 準会員と賛助会員の入会について

・準会員と賛助会員の入会者リストについて承認した。

報告事項:

1. ハワイ大学岡田先生 ハワイ州と日本における動物検疫の簡素化について

・宗像会長より、ハワイ大学の岡田悠偉人先生から提案されている、ハワイ州と日本間の動物検疫簡素化プロジェクトに関し、書類審査期間を従来の6ヵ月から2週間へ短縮する取り組みが進行中であり、2025年10月の実現を目指し、関係機関との調整が進められているとの報告があった。

2. 執行役員会報告 3/27 4/25

3. 委員会報告

1) 広報委員会 3/28(担当: 宗像会長、水野専務理事、吉田理事)

2) 年次大会実行委員会 4/15(担当: 宗像会長、市川副会長、水野専務理事、横山理事)

4. 決算報告 令和6年度決算報告と各事業の収支

その他: 今後のスケジュール

会議録

2025年度 第1回ホスピタル委員会 会議録

日時: 2025年6月2日(月) 13:00~14:20

会場: オンライン開催(zoom)

出席者(敬称略):

委員長 村田元

委員 大石太郎、北尾貴史、館澤仁

理事 宗像俊太郎、上野弘道、水野浩茂

事務局 千葉治、伊藤啓美

報告事項:

1. ホスピタル委員会アドバイザーの追加選任(旭あすか氏)

2. ホスピタル委員会担当セミナー 進捗状況

協議事項:

1. JAHA年次大会2025 記念講演、ホスピタルプログラム

1) 記念講演

・講演者: 安斎 勇樹 氏(株式会社 MIMIGURI 代表取締役 Co-CEO)

・講演テーマ: 「新時代の組織づくり: 軍事的世界観から冒険的世界観へのカルチャー改革」

2) ホスピタルプログラム

・年次大会ホスピタルプログラム枠の予定について、協議を行った。

2. 動物病院講座の再編成について

・動物病院講座の再編成について協議を行った。



なごみ豆知識!!

所得税の基礎控除の見直し等について

夏至の候、皆様におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。
今回は令和7年度税制改正のうち、所得税の基礎控除の見直し等についてご説明致します。

■概要

物価高騰が続く中、2025年12月1日に今回の改正が施行されます。
基礎控除額は58万円に引き上げ(合計所得金額が2,350万円以下の方が対象)られ、合計所得金額が655万円までその金額に応じて控除額が上乗せされます。
また、給与所得控除額も最低保障額が65万円に引き上げられました。

合計所得金額	基礎控除額	
	改正後	
	令和7・8年分	令和9年分以後
132万円以下	95万円(注1)	
132万円超336万円以下	88万円(注1)	58万円
336万円超489万円以下	68万円(注1)	
489万円超655万円以下	63万円(注1)	
655万円超2,350万円以下	58万円	48万円

(注)

- 58万円にそれぞれ37万円、30万円、10万円、5万円を加算した金額となります。
なお、この加算は、居住者についてのみ適用があります。
- 合計所得金額2,350万円超の場合の基礎控除額に改正はありません。

■令和7年分の年末調整における留意事項

基礎控除額及び給与所得控除額の見直しにより、令和7年11月までの給与の源泉徴収事務に変更は生じません。令和7年に行う年末調整の際に、改正後の基礎控除額に基づいて1年間の税額を計算し、改正前の「源泉徴収税額表」によって計算した源泉徴収税額との精算を行います。

■年収の壁への影響

いわゆる「年収103万円の壁(=所得税課税のライン)」は基礎控除額が48万円から95万円に、給与所得控除額が55万円から65万円に引き上がるため、「年収160万円の壁」と引き上げられました。これにより、配偶者特別控除を満額受けるための「年収150万円の壁」はなくなりました。

また、4月掲載の第61回でも紹介させて頂いた特定親族特別控除の創設により、大学生年代の子等の合計所得金額が85万円(給与年収150万円に相当)を超えた場合でも、扶養している親等が受けられる控除の額が段階的に逦減する仕組みが導入されました。

なお、社会保険に影響する年収の壁は、今回の税制改正とは関係がなく、住民税の年収の壁は、扶養家族の有無などの状況や各自治体によって異なりますので、ご自身がお住まいの各自治体の情報をご確認ください。

今回は所得税の基礎控除の見直しとそれに伴う年収の壁をご紹介いたしました。もしご不明な点等ございましたらぜひ一度、税理士等の専門家にご相談ください。

《事務局日誌／5月》

13日	火	CAPPボランティア講習会(対面) 講師:槌矢智枝さん 森本祐子さん 担当:山内
14~16日	水~金	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技2「子犬キャンプ」 講師:矢崎潤先生、山崎千佳先生、羽金道代先生
15日	木	監査会、第2回執行役員会、第1回理事会
17~18日	土~日	JAHA × WAHA × Life&Tail 共同開催「外科スキルアップラボ: 耳から気道までの実践的テクニック」 講師:徳永暁先生、末松正弘先生 サポート講師:小山田和央先生 担当:加藤
20日	火	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース実技2オンラインフォローアップ 講師:矢崎潤先生、山崎千佳先生、羽金道代先生
25日	日	JAHA/JSFM共催「こねこ来いこねこ塾」 講師:入交眞巳先生、村田香織先生、井上舞先生、鈴木香代子様、堀奈保子様、鈴木理絵様
29~30日	木~金	「血液透析を臨床に活かす! ~獣医療における最新アプローチ~」 講師:上田悠先生 司会:小山田和央先生 担当:加藤

セミナー予定

●JAHA会員特別オンラインセミナー「アメリカでの外科教育と避妊去勢手術による社会的貢献」

講師: 林 慶先生

日程: 7月9日(水) 20:00~22:00

内容: アメリカでの外科教育と避妊去勢手術による社会的貢献

参加費:

JAHA会員: 無料

会員外一般: 11,000円

●オンライン国際セミナー「動物の不整脈を“治す”時代へ: EPマッピングとアブレーションの実践と可能性」

講師: Dr. Romain Pariaut (Cornell University)

形式: Zoomでのライブ配信

日程: 7月19日(土) 20:00~23:00

●JAHA獣医認定医を目指すための症例発表会(オンライン)

開催日: 7月23日(水) オンライン

●WJVF第16回大会

日程: 7月26日(土)~27日(日)

会場: ホテルニューオータニ大阪

※市民公開講座は27日のみ

主催: JBVP, JAHA

●JAHA×Life&Tail×WAHA共同開催「外科スキルアップラボ: 腹腔内腫瘍外科に必要な解剖と実践手技」

日程: 8月2日(土)、3日(日)

会場: 獣医療研修施設 WAHA Lab.

講師: 細谷 謙次先生、金 尚昊先生

インストラクター: 木之下 怜平先生、小山田 和央先生

●家庭犬のしつけ方講座ベーシックコース オンライン(全5回)

日程:

第1回 8月3日(日) 14:00~17:00

犬との暮らし方学 矢崎 潤先生

第2回 8月10日(日) 14:00~17:00

犬の飼い主学 板本 豊実先生

第3回 8月17日(日) 14:00~17:00

犬のトレーニング学 矢崎 潤先生

第4回 8月24日(日) 14:00~16:30

犬の行動学 近藤 悦子先生

第5回 8月31日(日) 14:00~17:00

犬のトレーニング学 矢崎 潤先生

●JAHA獣医認定医(内科・外科・総合

臨床医)試験

日程: 8月24日(日) 14:00~16:00

会場:

東京: エッサム神田ホール1号館

(JR神田駅 徒歩2分)

大阪: 新大阪丸ビル別館

(新大阪駅東口 徒歩5分)

願書請求・申込受付: 6月1日~8月15日

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「公衆衛生・感染症学」科目

講師: 生野 沙織 先生(日本獣医生命科学大学獣医学部 獣医保健看護学科 講師)

日程: 8月29日(金) 開催予定

形式: Zoomでのライブ配信(見返し配信アリ)

●第178回国際セミナー「未来の獣医整形外科を切り拓く~3Dプリンティング × 肘・股関節周囲疾患へのアプローチ~」

講師: Dr. Sun Young Kim (Purdue University)

日程:

東京会場: 9月3日(水)~5日(金)

大阪会場: 9月7日(日)~9日(火)

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 講義1「学習理論~基礎知識」オンライン

講師: 野口ゆづる先生 0 mm

日程:

10月4日(土) 10月11日(土)の2回に分けて配信

パート1 10月4日(土) 14:00~17:00

パート2 10月11日(土) 14:00~17:00

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「麻酔学」科目

講師: 風岡 匠 先生 (コロラド州立大学米国麻酔疼痛管理科専門医レジデント)

日程: 10月中開催

形式: Zoomでのライブ配信(見返し配信アリ)

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 実技3「犬連れキャンプ」

講師: JAHA認定家庭犬しつけインストラクターによるチーム

日程: 10月20日(月)~10月23日(木)

会場: ドッグリゾートワフ

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 講義3「子犬に関する基礎知識」オンライン

講師: 村田香織先生、山崎千佳先生

日程:

11月8日(土) 11月15日(土)の2回に分けて配信

パート1 11月8日(土)

14:00~17:00 村田香織先生

パート2 11月15日(土)

14:00~17:00 山崎千佳先生

●JAHA年次大会2025

「One Well-being「対話」~すべての生命が響き合う、調和の未来へ~」

日程: 11月26日(水)、27日(木)

会場: AP東京八重洲(東京駅八重洲口 徒歩6分)

●JAHAオンラインセミナー「画像診断」

講師: 栗原 学先生 (North Carolina State University)

日程: 12月~1月

形式: 講義は収録配信、Q&Aはライブ配信

後援催事等

●FASAVA2025大邱大会 参加ツアー

開催日: 10月30日~11月3日/4泊5日

開催地: 大邱市(韓国)

目的: FASAVA2025大邱大会への参加

主催: 株式会社 南海国際旅行

●2025動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"

テーマ: 「一動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」

開催日: 11月15日(土) 10:00~16:00

会場: 上野恩賜公園(水上音楽堂及び不忍池周辺)

主催: 公益社団法人日本獣医師会

会員数(令和7年5月31日現在)

合計8,717名

動物病院会員 A	418病院	勤務獣医師会員	1,837名
動物病院会員 B	231病院	勤務動物看護職員	4,970名
個人正会員	5名	学生会員	23名
名誉会員	2名	サポート会員	723名
個人獣医師会員	106名	施設賛助会員	167施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	86社
学術会員	148名		

WJVF 第16回大会 JAHAプログラム

主催 JBVP/JAHA

市民公開講座と病院スタッフ向け講演を行います

2025年7月27日(日) 会場: ホテルニューオータニ大阪

